

**USL (UeyamaSystemsLaboratory) サービスの
ご紹介**

基本サポートのご紹介

1. ネットワーク診断

- ・トラブルシューティング(問題点と解決策の提示)
- ・ネットワーク診断(ネットワーク状況【良い点・改善すべき点】の見える化を実施)
- ・セキュリティ診断(各種ツールを使った脆弱性、ログデータチェックによる不正アクセスなどのチェック)

2. ネットワーク管理ツール販売・導入・サポート

- ・NetCrunch、SiteNetworkController (SNC)、eHealthなどの販売・導入(特にSNCはお安く販売可能)
- ・Wireshark、Zabbixなどのフリーソフトの活用支援も実施
- ・上記、その他管理ツールのマップや管理モジュールの作成、運用マニュアル、トレーニングなども実施

3. システム構築

- ・プロジェクトリーダーの担当と育成
- ・プロジェクト推進のためのツール(帳票類)のご提供
- ・ネットワーク設計(ネットワーク診断と連携することあり)

4. 付随サポート

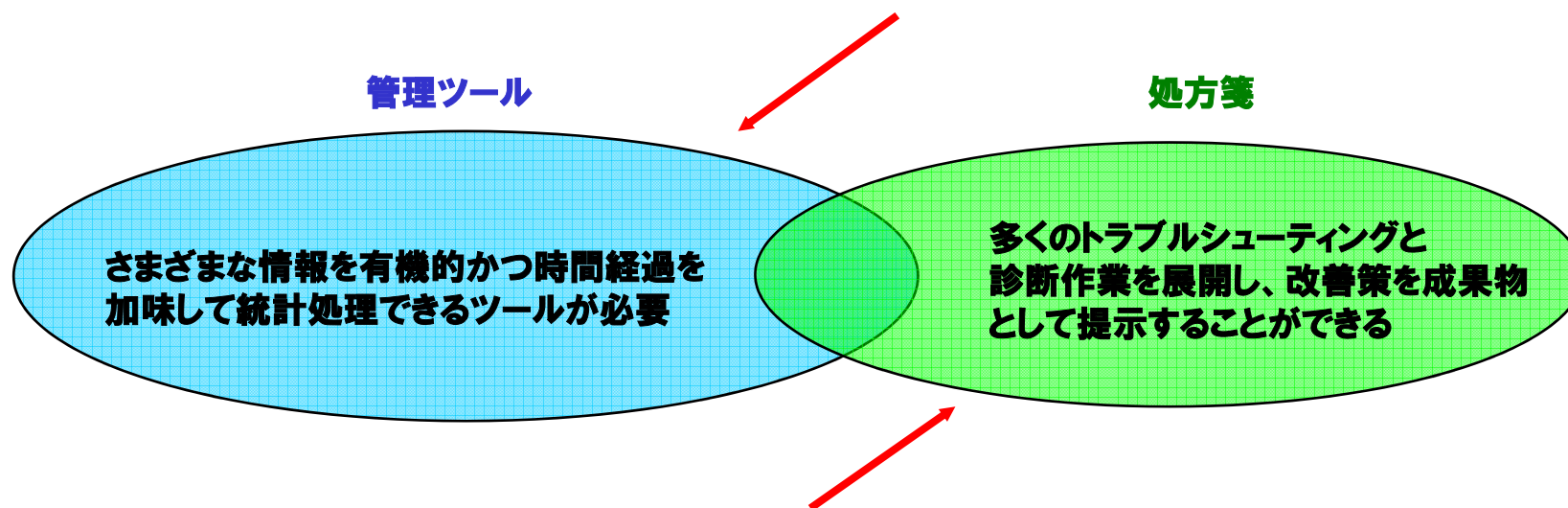
- (必要なアイテム【管理規約・帳票・要員育成計画など】の提示を含む)
- ・RFI/RFP作成支援
 - ・ネットワーク構築/保守・運用業務改善支援
 - ・セキュリティ対策/システム監査の実施
 - ・ネットワーク業務改善活動

今回は、1. ネットワーク診断にフォーカスした紹介をさせていただきます。

1-1. ネットワーク診断に必要なもの(要件)

ネットワーク診断には、

ポートが生きている(UP)死んでいる(DOWN)という判断や、帯域使用率やエラーがある一定の値(しきい値)を越えたらアラームを上げるという一元的な診断ではなく、返答レスポンスが過去の調査(最低2週間必要)より劣化がひどくなっているとか? 帯域使用率と各種エラーの兼ね合いを見た多元的な情報処理を行い、多くの管理対象のなかから見るべきポイントの提示を行うツールが必要となります。



見るべきポイントの提示とは、すなわち詳細調査や改善対応が必要なポイントになり、いわゆる次のアクションプランが必要になります。このアクションプランを我々は処方箋(しょほうせん)と呼んでおり、ネットワークおよびシステム改善のための有効なアクションプラン・改善策の提示が必要と考えております。

1-2. 弊社ネットワーク診断サービスのポイント

これまでのネットワーク診断ツールやeHealthを使用しても現状の公正な評価、改善のアクションプランの提示やトラブルシューティングに繋がらないのであれば意味がないのではないかと？

多くのお客様の素朴な疑問

現状の公正な評価、改善のアクションプランの提示、トラブルシューティングを事例をベースに説明することが必要

疑問に答えるためには？

多くのネットワーク診断事例をベースにマルチベンダー環境における真の閾(しきい)値、処方箋(改善策)を立てることが必要

統計情報をベースに各値の間の因果関係を知っています。ネットワーク構成とエラー状況から許容して良い範囲と対応が必要な範囲を明確に提示できます。

弊社では、これまで600件を超えるネットワーク診断と220件を超えるトラブルシューティングを成功させた実績がございます。

2017年3末時点の実績
全て有料ネットワーク診断

1-3. ネットワーク診断サービスの形態

新システムの導入を前に適正な設計のために有効なデータとなる情報の提示を行う。

本診断により、予期していない問題点(改善すべき点)の提示や、今後の改善方策の提示を行う。

スポットネットワーク診断

(これまでの診断にて必ず何がしかの改善点を提示させて頂いております。逆に言えばどのお客様環境にても改善すべきポイントがあるということになります)

定期ネットワーク診断

毎月1回、年2回・4回という決められた時期に定期的に訪問し、改善点の提示を実施

トラブル予防、エンドユーザクレームに対するネットワークからの調査、アップグレードや増量タイミングの提示

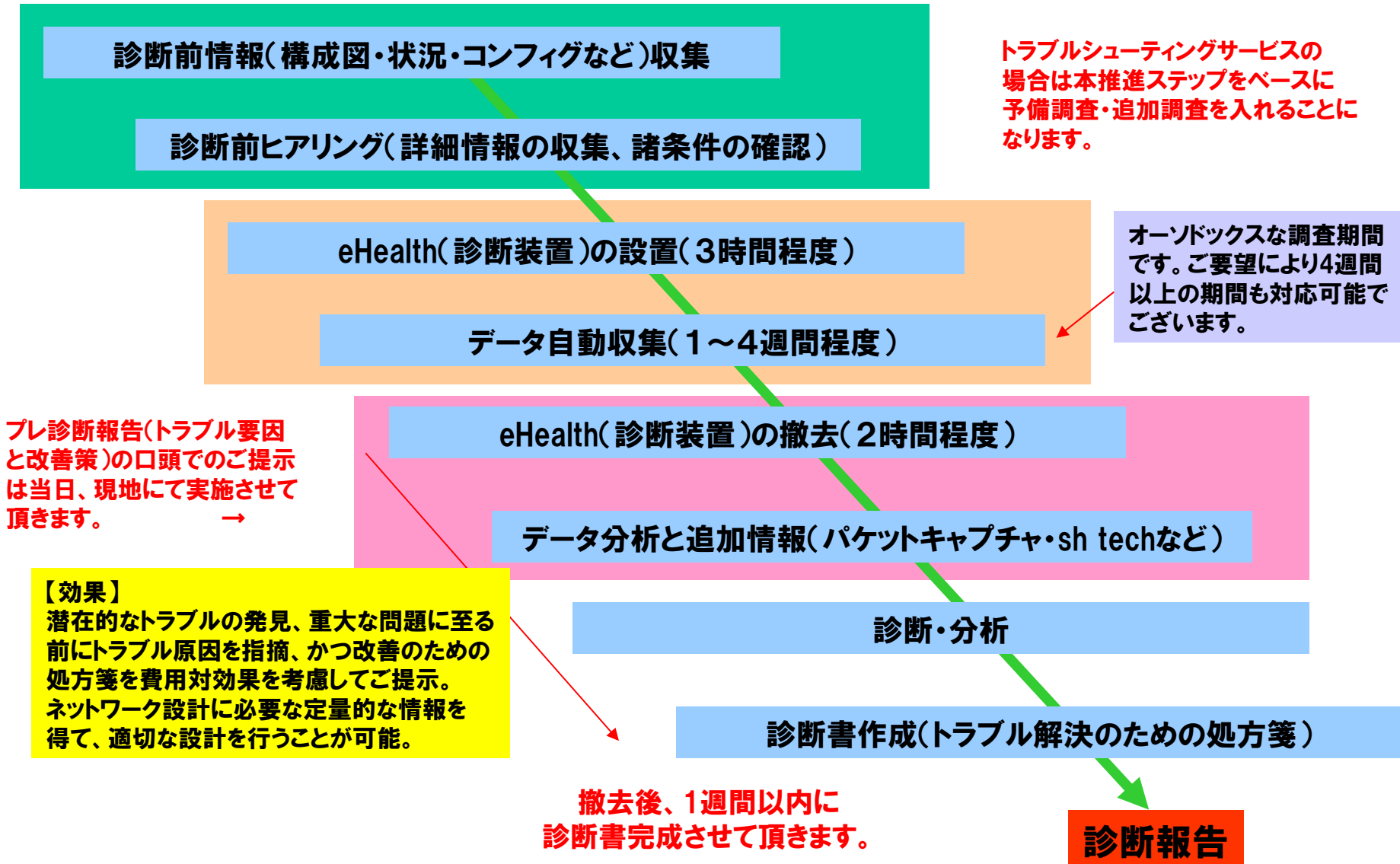
トラブルシューティング

早急に解決が必要なトラブル、慢性的ネットワーク不調などを改善すべく、問題点の提示だけでなく、費用対効果を考慮した改善策の提示を行う。必要に応じて、マルチベンダー間の調整役も実施して、改善ための具体的なアクションプランの立案を提示する

以降ではスポットネットワーク診断にフォーカスした紹介をさせていただきます。

1-4. スポットネットワーク診断 推進ステップ

【スポットの実施事例】: ネットワーク導入前、導入直後、不安定時



2. ネットワーク診断担当者の業務経歴などについて

株式会社上山システムラボラトリー 代表取締役 上山勝也(うえやまかつや)

ネットワーク診断:600件以上、トラブルシューティング:220件以上

販売商品:システムコンサルティング、ネットワークコンサルティング、企画・規約立案、ネットワーク診断ツール及びSDNの販売など

担当業務:ネットワーク診断の他、ネットワーク設計、プロジェクトマネジメント、RFI/RFP作成支援、情報規約作成、セキュリティ対策支援、要員教育など

<講演活動> 1989年頃からメーカー(富士通・日本ユニシスなど)系や日経・ロイターなどでの講演を担当
1990年頃から、NOMA(日本経営協会)をはじめとして、その後JUAS(日本情報システムユーザー協会)、日本テクノセンターでの有料セミナーを担当
現在はJUASにて毎年、定期的にネットワーク関連講演を担当(2016年は東京・大阪で年12回開催)

<主な資格>
オンライン情報処理技術者、ネットワークスペシャリスト、システム監査技術者
社団法人日本情報システムユーザー協会登録:情報システムコンサルタント

<公益活動>
過去3年:中小企業事業団登録:情報化推進アドバイザー、
過去5年:社団法人日本経営協会(略称NOMA)登録:ビジネスショウ大阪、企画/カンファレンス部会委員

<執筆活動>
LANの運用・管理・障害対応の実務マニュアルと書式文例集成(JUAS刊)、
情報システムの震災(災害)対策マニュアルと震災対策計画書事例(JUAS刊)、
ストップ・ザ・LANトラブル(オーム社刊)、
ネットワークスペシャリスト講座CD-ROM出版(JUAS刊)、
通信プロトコルがわかるとネットワークに強くなる(メディアテック出版)。

付随サポートのご紹介

過去実績から前ページに付随したサービス内容をご紹介します

①RFP作成支援

・お客様が作成するRFPの雛形を作成させていただきます（【建前】：客先担当者の負担軽減と【本音】：貴社が案件受注しやすい内容を違和感ない形で盛り込むことを狙います）

②うまくいかないプロジェクトのリカバリー

・他社（場合によっては貴社）が推進しているプロジェクトで思うように進展していないケースの軌道修正を行います。

③システム監査/セキュリティ監査の実施

・粗探しではなく、効率よく運用管理するためのチェックと対応策の提示をさせていただきます（必要なアイテム【管理規約・帳票・要員育成計画など】の提示を含む）。

付随サポートのご紹介

過去実績から前ページに付随したサービス内容をご紹介

④NW構築・保守・運用支援

・構築に必要な規約・帳票・タスクフォローなどの策定と実施のためのフォローを実施します。

⑤IT資産管理対応

・規約の策定、自動化ためのツール導入と運用サポートを実施します。

⑥クラウドシステム導入時のサポート

・注意すべき要件と導入展開サポートを実施させていただきます。
(セキュリティ対応や導入後のパフォーマンス問題の防止・改善を行います)

弊社ネットワーク構築・保守業務サポートサービスのご提案

過去、ユーザ企業の情報システム部様やベンダーのシステム設計・構築・保守部隊に対して、仕事の進め方や設計手法、マニュアル類などの教育や作成を行っていましたが、昨年末、システム構築会社様(製造業の元情報システム部がスピンアウトした会社様)から、下記のようなご要望(*1:要件概要)を頂き、受注した案件がございます。

1月~4月にベース資料の作成(*1)とその後、来年3月までのアフターフォロー(定着活動)をさせて頂き、体系化(*2)致しました。

*1:要件概要

- ・実務経験3年程度のエンジニアや、10年程度のPMが、一定の品質(高品質である必要はない)でNW構築や保守を実施できるようになること
- ・定められた手順やツールを使って業務遂行を行えば、新規採用者(中途想定)でも無理なく一定の品質を確保した業務遂行ができること
- ・担当者交代の際に、短時間で効率よく引継ぎができるよう、普段より情報が適切に管理されていること
- ・弊社の実情に応じた、無理のない業務プロセスが策定できること
- ・ツール類は、可能な限り既存の業務プロセスにあわせて最適化されていること

*2:体系化したもの

- ・業務プロセスフロー ・業務実施手順 ・情報管理ルールや管理手順 ・必要なツール(ドキュメント)類
- ・定着改善のためのアフターフォロー活動(定期訪問)

ネットワーク診断のためのツール導入や活用も大切ですが、効率よく稼働させ、実務に役に立つ運用を行うためには、仕事の進め方(自らもそうですが、関連会社のコントロールも含まれます)が大変重要と考えております。